

2014年7月15日

株式会社ネクス

オートバイ用 GPS データロガーの開発開始及び鈴鹿 8 時間耐久ロードレース参戦

株式会社ネクス（本社：岩手県花巻市、代表取締役社長：秋山 司、以下、「ネクス」）は、オートバイ向けの通信機能付きデータロガーの研究開発を開始致しました。また、今後の試作機の導入および共同開発のため PRO-SHOP Z-TECH^{*1} に協賛し、「Team WINNER Z-TECH & NCXX Group」^{*2} として鈴鹿 8 時間耐久ロードレース^{*3} に参戦を致します。

○開発内容

GPS データロガーとは、GPS やセンサーにより計測・集計した各種データを保存する装置の事で、エンジン回転数、スロットル開度、バイクの位置情報、速度、加速減速強度、傾斜確度、GPS による走行軌跡など、様々なデータを収集し解析を行なう事が可能になります。

通常スタンドアロンで使用をするデータロガーに対して、ネクスの通信モジュールを組み込む事で、リアルタイムでの情報取得が可能になります。

この度の開発につきましては、通信モジュールに関してはネクス、様々なデータを収集し解析を行なうソフトウェアに関しては、子会社である株式会社ネクス・ソリューションズ（以下、「ネクス SL」）が開発を行ないません。ネクスはこれまでも、通信機器のハードウェアの開発を行なってきましたが、新たに子会社のネクス SL がネクスグループ入りした事により、通信機器の提供だけに留まらず、機器の持ち味を最大限に引き出し、エンドユーザーの様々なニーズに対応したアプリケーションサービスも併せて提供をしていきます。

今後の開発につきましては、段階的に製品をリリースして行く予定です。試作機については「Team WINNER Z-TECH & NCXX Group」に所属するプロライダーによる試験走行を繰り返して、細かな情報の収集と用途に応じた必要情報の精査をおこないながら、プロレーサーの要求に応える事が出来る製品を目指します。

その後、試作機をもとに様々な利用シーンに併せて製品としてのスペックを変更する事と、利用シーンに応じたアプリケーションの提供を行なうことでユーザビリティを高め、法人向けや一般のバイク愛好家、アマチュアライダーに向けての製品提供を目指します。

具体的な用途としては、M2M 分野^{*4} ではオートバイを事業用として使用している法人であれば、車両の運行状況のリアルタイムでの把握、燃費の良い運用の解析、危険な運転時にアラートを出す等安全な運行の啓蒙、盗難にあった際は GPS による追跡をする事などが可能になります。また、個人向けには、解析したデータを基に、自分のライディングと他人のライディングを比較したり、ツーリングの軌跡を地図上にプロットし、情報を共有したりする事が可能になります。サーキット場で使用をすればコース全体の走行軌跡の確認ができ、ライン取りやブレーキングポイント等の確認ができ、安全かつ効率の良いライディングをおこなう為のデータを解析する事が出来ます。

また、本開発で培った、厳しい環境下で通信を行うハードウェアのノウハウ、高速で動くバイク上での GPS 通信や、3G モデムのパケット通信、SMS（Short Message Service：短いテキストメッセージを送受信するサービス）を制御する通信アプリケーション及び、正確に表示を行うサーバ運用の技術は、オートバイ用の用途に留まらず、自動車向けや、ロボット向けなどの動体管理、監視等、様々な用途に技術展開が可能な為、より広い分野で M2M 市場の潜在ニーズを引き出す事が可能になります。

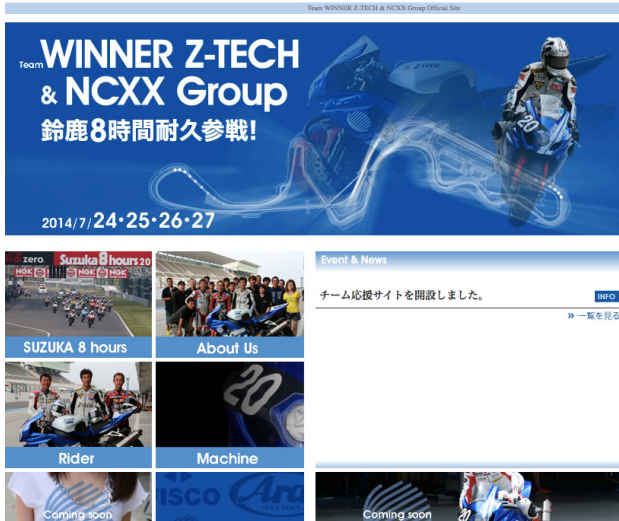
○鈴鹿 8 時間耐久レースへの参戦について

当社は今まで M2M 製品として、多くの車載向けの製品の開発・納品実績が有ります。車載向け製品は様々な環境下での耐性が要求されますが、オートバイの運用はさらに過酷な環境下での使用が想定されます。この度のオートバイ用製品の開発にあたり、試作機のテスト運用やデータ収集・解析をおこなうために、PRO-SHOP Z-TECH に協賛をして、「Team WINNER Z-TECH & NCXX Group」を新たに結成し、鈴鹿 8 時間耐久レースへ参戦を致します。ロードレースのなかでも、最も過酷だと言われる鈴鹿 8 時間耐久レースでの使用に耐える製品を作る事、プロのライダーの走行データの解析、プロのライダーが使用できる製品を開発する事により、当社の技術資産を

蓄積し、車載向け製品をはじめとする他の M2M 製品へのフィードバックをおこない製品ラインナップを充実させていきます。

この度の鈴鹿 8 時間耐久レースでは、レース用バイクに試作機を搭載し、振動耐性の検査をはじめとした環境試験、高速で移動するバイクから精度の高い位置情報取得やデータのログの取得など様々なテストを行い、製品化に向けた更なる改善に繋げてまいります。

また、皆様に「Team WINNER Z-TECH & NCXX Group」を応援して頂く為に、応援サイト『Team WINNER Z-TECH & NCXX Group Official Site』(<http://www.ncxx-sl.co.jp/8tai/>)を立ち上げました。レース開催期間（2014 年 7 月 24 日～27 日）限定のコンテンツ等も用意しておりますので、是非ご覧頂き、応援をお願い致します。



Team WINNER Z-TECH & NCXX Group Official Site



Team WINNER Z-TECH & NCXX Machine

*1 「PRO-SHOP Z-TECH」は、奈良県大和郡山市にあるオートバイ販売店です。過去からロードレースへの参戦経験が有り、2002 年の「鈴鹿 U-4 OPEN 4 時間耐久ロードレース」ではクラス優勝（総合第 2 位）。2004 年より鈴鹿 8 時間耐久ロードレースに「Team Z-TECH」として参戦をしています。

*2 「Team WINNER Z-TECH & NCXX Group」は、「Team Z-TECH」にネクスグループが協賛をすることで新たに生まれ変わった Team です。ネクスグループの持つ通信技術を活かしたデータ収集、分析により、効率の良い走行や安全な走行の実現を目指します。

*3 「鈴鹿 8 時間耐久ロードレース」は、1978 年から開催され、1980 年から世界耐久選手権の 1 戦として組み込まれている国際格式の耐久レースです。1 台のマシンを 2～3 人で交代しながら走り、8 時間でのサーキット周回回数を競います。毎年 7 月下旬に開催され、猛暑のなか激しい戦いが繰り広げられる日本有数のレースイベントです。今年の開催日程は 2014 年 7 月 24 日～27 日の 4 日間。

*4 「M2M」とは、ネットワークにつながれた機器同士が相互に情報を交換し、様々な制御を自動的に行うシステムです。人手を介することなく相互に情報交換できることが大きなメリットです。そのため、パソコンやサーバーだけでなく、車両運転管理システムとの融合による運転状況の管理、自動販売機の在庫管理や故障等のモニタリング、エレベーターの遠隔監視、電気・ガスのメーターの遠隔検針やセキュリティ対策など、多種多様な分野で導入されています。

<本件に関するお問い合わせ先>

株式会社ネクス

営業部 TEL : 03-5766-9872